

2014. 3. 12

「嚥下障害診療センター」キックオフミーティング

会場: 東病棟12F 多目的ホール③

頭頸部癌(腫瘍)患者の治療後に生じる 咀嚼・嚥下機能障害改善へ向けた 当科の取り組みについて

熊本大学医学部附属病院 歯科口腔外科

中山 秀樹

頭頸部癌患者への治療と後遺障害

手術



審美障害

発語・咀嚼・嚥下機能障害

放射線療法



顎骨壊死、放射線性骨髄炎

放射線性口腔乾燥症

化学療法



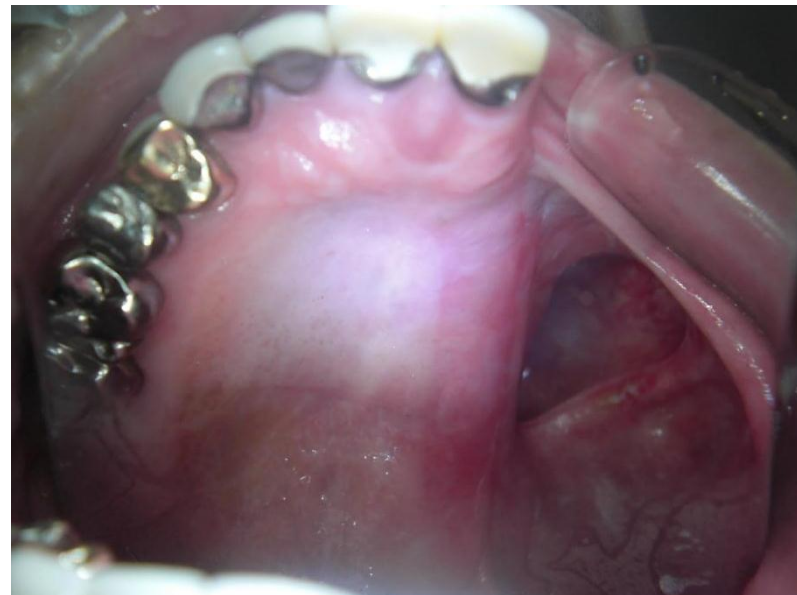
薬剤ごとに生じる障害

顎骨切除患者の問題点と

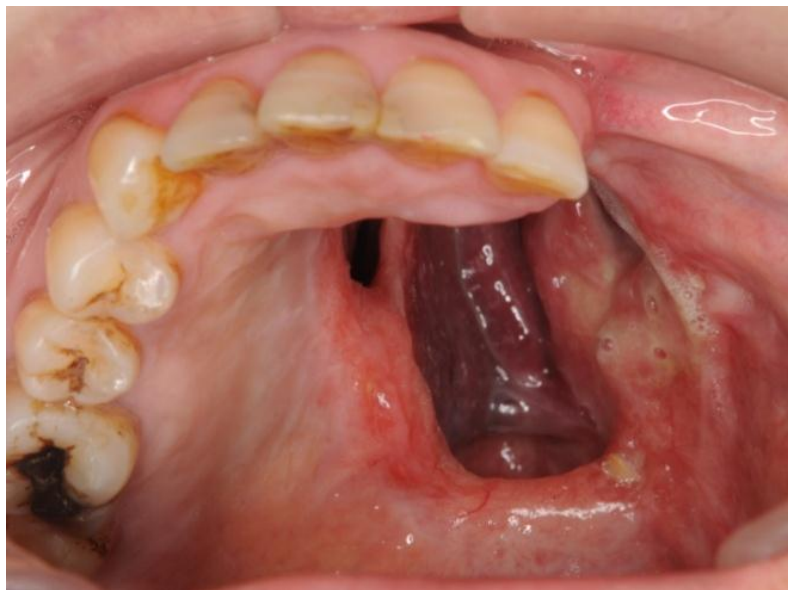
その改善に向けた治療

—上顎骨切除患者への対応—

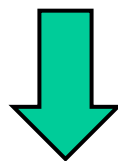
頭頸部癌術後の上顎欠損状態



上顎骨や口蓋が欠損すると・・・



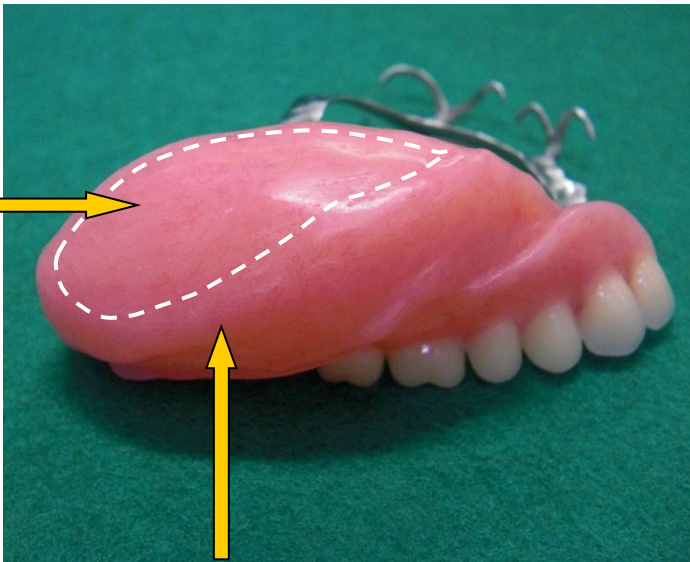
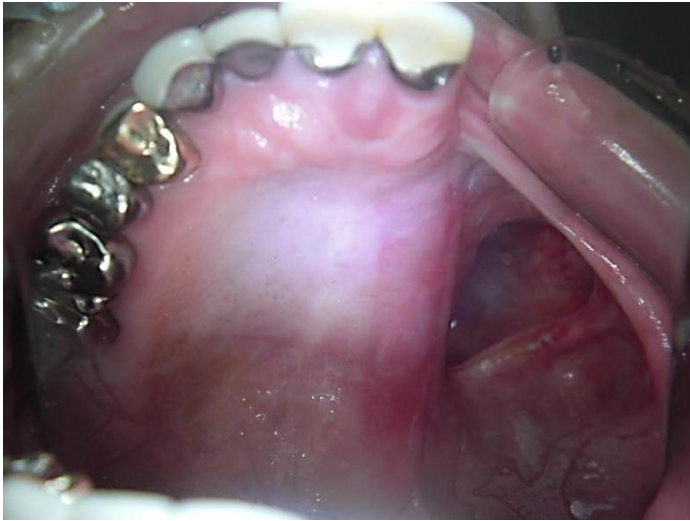
鼻咽腔閉鎖不全



発音障害・嚥下障害を生じる

歯牙を同時に喪失すれば、咀嚼障害も生じる

顎義歯について



天蓋部

栓塞部
(内部は中空)

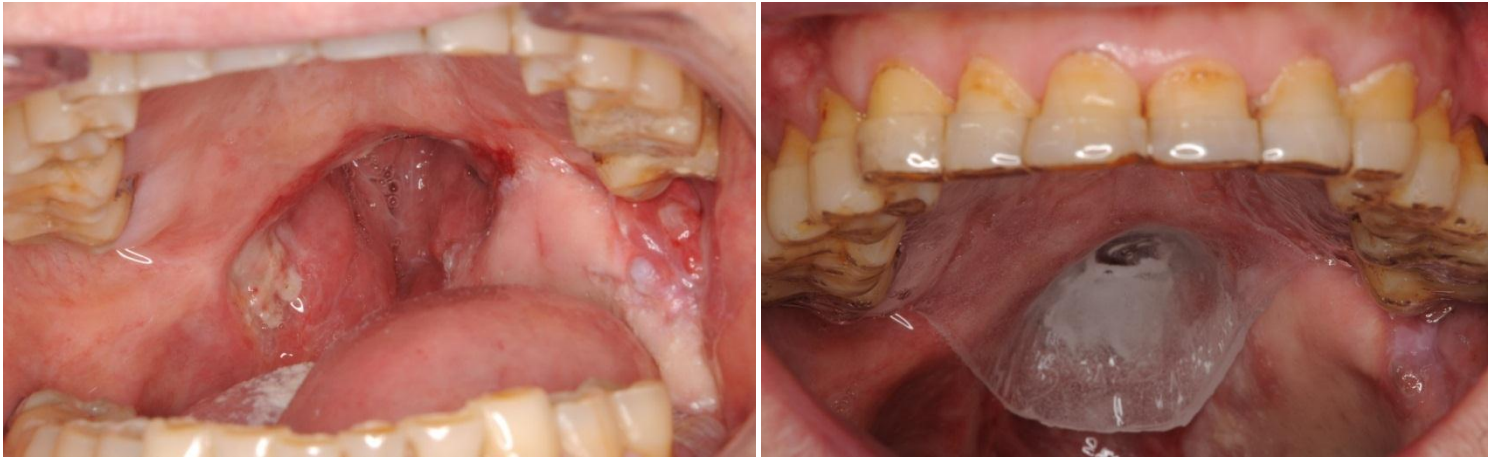
完成した中空型顎義歯

栓塞部
(内部は中空)

術後閉鎖床（創保護シーネ）

<63歳、男性> 下咽頭喉頭全摘・軟口蓋全摘・左咽頭側壁切除・舌根部分切除・
下顎辺縁切除・両側頸部郭清・大胸筋皮弁による中咽頭再建が行われた。

術後
約1か月



粘膜調整剤で適合を図り、術後閉鎖床を装着した

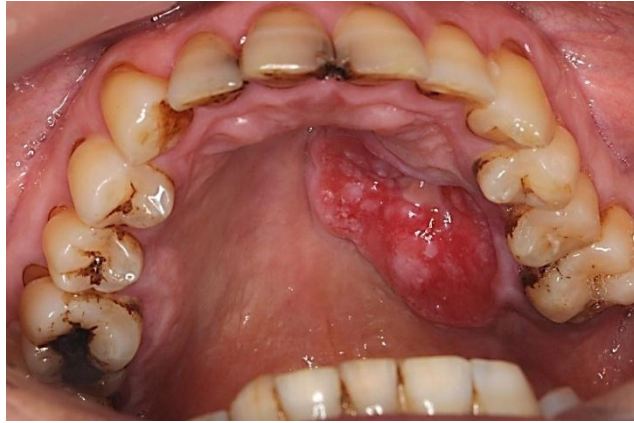
術後
約3か月



創部はさらに安定し、新たな術後閉鎖床を装着した

上顎切除患者に対するアプローチの流れ

術前



診査

術後約2週



印象採得

術後約2週～半年



術後閉鎖床装着

術後約半年



顎義歯装着

＜症例供覧(難症例)62歳、男性＞



左上顎拡大全摘(眼球摘出)

頸部郭清術

腹直筋皮弁再建術(左眼窩下を裏打ち)

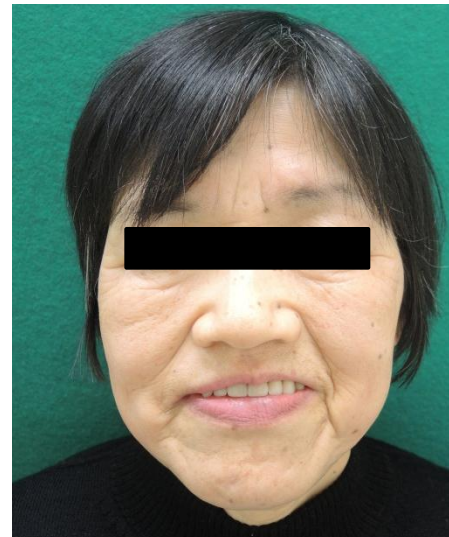
脳神経外科による前頭蓋底手術



顎義歯装着部の辺縁が可動性のある皮弁で再建されているため、左側辺縁の義歯の安定が得られにくく、鼻腔への漏れを生じやすい。

<症例供覧(64歳、女性)>

顎義歯装着後の口元の審美性の改善



<ビデオ供覧(3例)>

**顎義歯装着による鼻咽腔閉鎖後の
発語明瞭度と嚥下機能の改善**

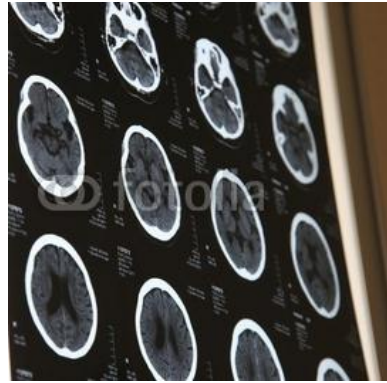
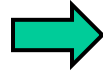
今後の展望について

3Dプリンター(粉末積層造形装置)を用いて
実物大の顎骨モデルを作製し臨床応用する

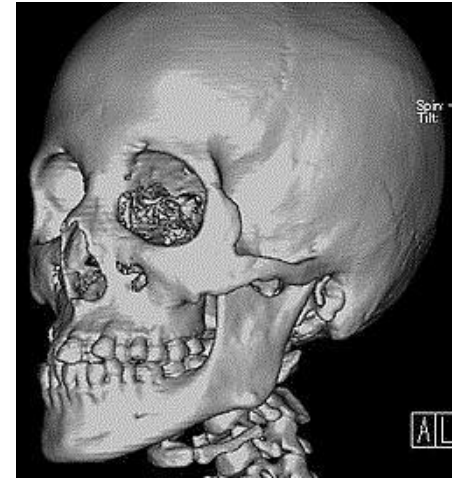
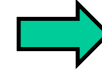
3D石膏モデルの製作過程



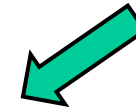
CT撮影



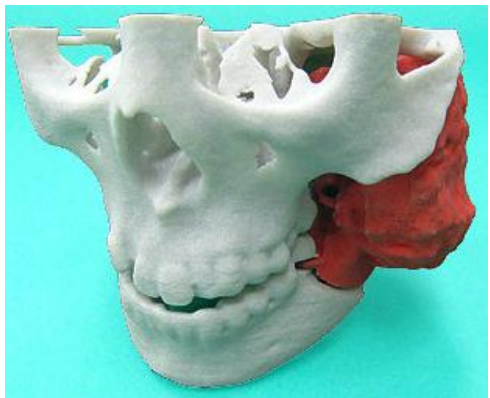
DICOMデータ



3Dデータ化



術前に病変部位を特定し、術後の嚥下障害改善に役立てる



石膏モデル

保険点数として算定可能

K939 画像等手術支援加算 2 実物大臓器立体モデルによるもの +2000 点

K132	椎弓形成手術	K440	上顎骨切除術
K136	脊椎，骨盤悪性腫瘍手術	K441	上顎骨全摘術
K142-2	脊椎側彎症手術	K442	上顎骨悪性腫瘍手術
K151-2	広範囲頭蓋底腫瘍切除・再建術	K443	上顎骨形成術
K162	頭皮，頭蓋骨悪性腫瘍手術	K444	下顎骨形成術
K180	頭蓋骨形成手術		
K228	眼窩骨折整復術	歯科	
K236	眼窩悪性腫瘍手術	J019-2	口蓋腫瘍摘出術（口蓋骨に及ぶもの）
K237	眼窩縁形成手術（骨移植によるもの）	J038	上顎骨切除術
K313	中耳，側頭骨腫瘍摘出術	J039	上顎骨悪性腫瘍手術
K314-2	中耳悪性腫瘍手術（側頭骨摘出術）	J040	下顎骨部分切除術
K406-2	口蓋腫瘍摘出術（口蓋骨に及ぶもの）	J042	下顎骨悪性腫瘍手術
K427-2	頬骨変形治癒骨折矯正術	J043	顎骨腫瘍摘出術（歯根嚢胞を除く）
K434	顔面多発骨折観血的手術	J069	上顎骨形成術
K436	顎骨腫瘍摘出術	J070-2	頬骨変形治癒骨折矯正術
K437	下顎骨部分切除術	J075	下顎骨形成術
K438	下顎骨離断術	J076	顔面多発骨折観血的手術
K439	下顎骨悪性腫瘍手術		